

# 日本新薬での話合いの内容について



## 報告書

山本雅敏

2005/12/16 (金)

## 舟木総務センター長、由良広報部長、舟木氏経由で初山社長と会談

### 1) 社名、個人名の使用をしない

日本新薬、市野瀬氏、森下氏の名前は出さない。また、室名としての使用も必ず控えて欲しい旨の要望があった（これはこの件で話し合いを開始した当初からのものである）。

### 2) '嵯峨'という文字の使用を避ける

新棟が嵯峨団地にある事から、嵯峨・・（嵯峨会館、嵯峨ホールなど）を付けることはしない。本新棟も京都工芸繊維大学の一施設であることから、固有の名称を付ける事としたい。'嵯峨'という、地域的隔離を表現する冠は、松ヶ崎団地のサテライトであり、付属キャンパスという位置づけを表すものであり、これからも嵯峨キャンパスは松ヶ崎のサテライトであるという殻を破る事のできない発想に基づく命名になる危険性がある。松ヶ崎ホール等の施設が建設されれば、嵯峨ホールもありうるかもしれない。京都工芸繊維大学の嵯峨キャンパスに嵯峨の冠を持たない施設を新設する事で、発展向上の新しい歩みとしたい。また、観光名所である事から'嵯峨ホール'などの名称は、公民館か旅館関係の名称のように聞こえる。

### 3) カタカナ語を避ける

ゲノム、バイオなどプロジェクト研究課題に時代的要請として持ち上げられている科学用語は出来るだけ避けたい。本施設が長期間、広範囲の目的に使用されるためには、カタカナ語による科学用語を盛り込んで、狭い範囲に枠がためをしないほうが良いとの配慮である。

### 4) 京都の風土・歴史を生かす

日本新薬（株）の社風として、京都という地域への文化的還元に貢献することをモットーにしてこられた事を重視して、京都の文化的芸術・宗教・学問的風土の背景を鑑み、長い期間使用できる名称を考慮した。学問を追求する学徒の集いである事を考えた。